

【凡例】

ミニバス西路線（調43）

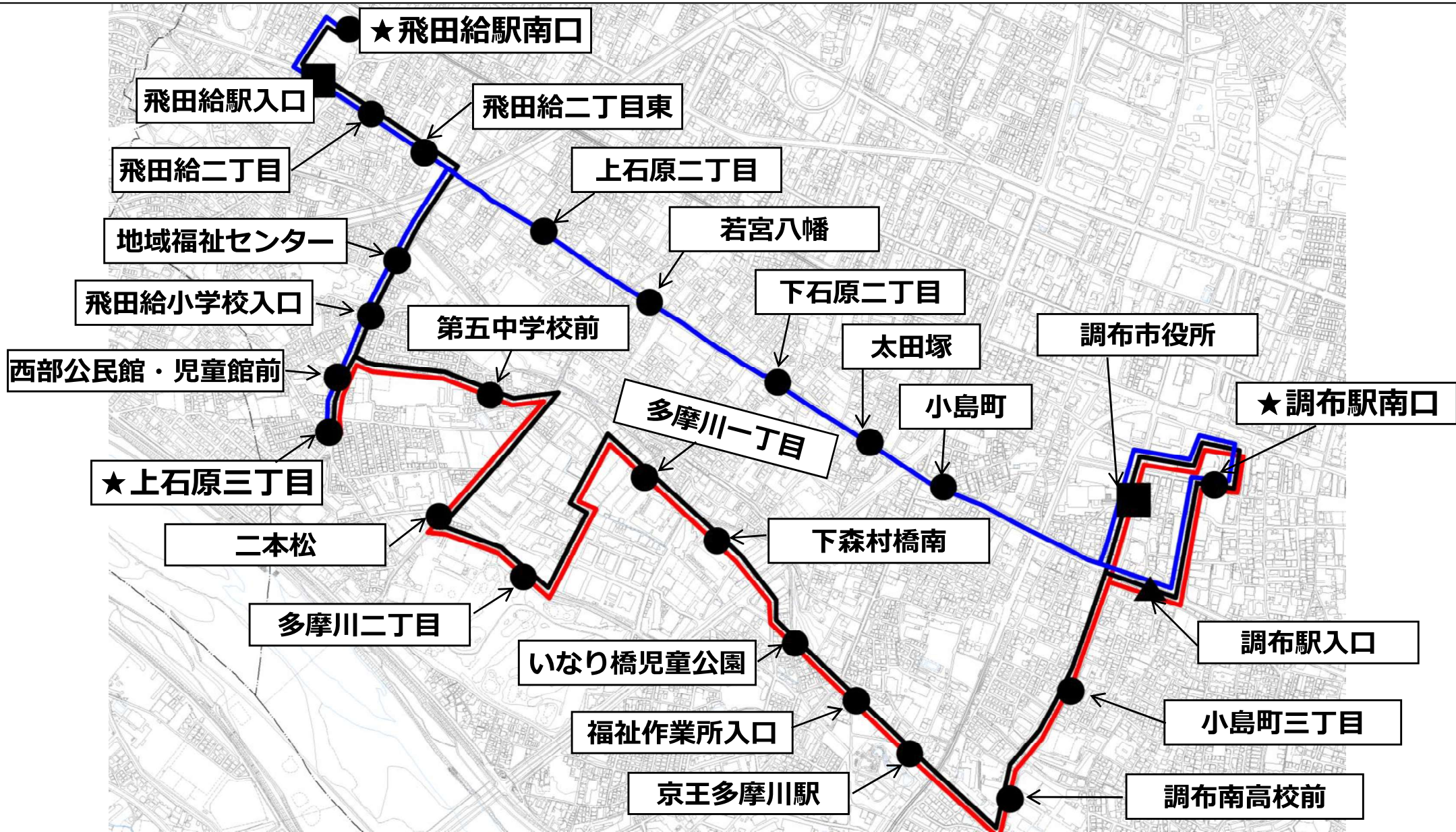
- バス停（共通） ▲ バス停（調布駅南口 ⇒ 飛田給駅南口のみ） ■ バス停（飛田給駅南口 ⇒ 調布駅南口のみ）

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。（承認番号）3都市基交著第39号

区分	現状のミニバス西路線	京王バス提案ルート(中型バスの変更案)A案	現行ルート+品川通り(調51)ルート(小型バス)B案
ルート図	<p>○調布駅と飛田給駅間の同じルートを往復</p>	<p>○中型バスに変更することで運行が困難となるルートの一部を代替するルート。また既存の路線バス調51のルートもカバーしたルート。</p>	<p>○小型バスでの運行によって運行ルートを維持したうえで、既存の路線バス調51のルートもカバーしたルート</p>
車輛, 台数	小型バス, 2台	中型バス, 1台	小型バス, 1台(2台) (利用者が多い時間帯は小型バス2台)
運行収支	約▲6,800,000円(2019年度) →約▲23,800,000円(2020年度見込み)	約▲4,800,000円	現状に比べ大幅な改善は見込めない
運行間隔	30分間隔	40分から50分間隔 (50分間隔は、飛田給駅アクセス時、1日に3便程度)	40分から50分間隔(20分から25分間隔) 50分間隔(25分間隔)は飛田給駅アクセス時、1日に3便程度
メリット		<p>現状の西路線と比較してA案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バスのサイズが大きくなるため、輸送能力が上がる(小型36人から中型56人、一時間当たりの輸送量 72人から84人(17%増))</li> <li>・品川通り沿いの商業施設、医療施設の利用が容易になる</li> <li>・減便となった調51(調布駅南口～車返団地折返場)の影響を軽減できる</li> </ul>	<p>現状の西路線と比較してB案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のバス停を全て通過できる。</li> <li>・小型車2台での運行時は輸送力が、1時間当たり72人から108人(50%増)となる</li> <li>・品川通り沿いの商業施設、医療施設の利用が容易になる</li> <li>・減便となった調51(調布駅南口～車返団地折返場)の影響を軽減できる</li> </ul>
デメリット		<p>現状の西路線と比較してA案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両が大きくなるため、ルートの変更が必要となる</li> <li>・運行間隔が30分間隔から40～50分間隔になる</li> <li>・既存のバス停3箇所(下森村橋南, 多摩川一丁目, 第五中学校前)が使えなくなる。</li> <li>・飛田給駅へのアクセス回数が減る</li> </ul>	<p>現状の西路線と比較してB案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナの感染拡大による厳しい財政状況下での臨時的な財政支援(補助金)が必要となる</li> <li>・小型車1台での運行時は輸送力が、1時間当たり72人から54人(25%減)となる</li> <li>・飛田給駅へのアクセス回数が減る</li> </ul>



# ミニバス西路線（調43）の変更ルート図案【上石原三丁目⇔調布駅南口／飛田給駅南口⇔調布駅南口】



【凡例】

■ 飛田給駅南口 ⇔ 上石原三丁目経由・多摩川一丁目経由 ⇔ 調布駅南口 (従前と同じルート)  
■ 上石原三丁目⇔多摩川一丁目経由⇔調布駅南口 ■ 飛田給駅南口 ⇔ 若宮八幡経由 ⇔ 調布駅南口

● バス停 (共通) ▲ バス停 (飛田給駅南口行き又は上石原三丁目行きのみ) ■ バス停 (調布駅南口行きのみ)

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)3都市基交著第39号

## ミニバス西路線ルート比較表

区分	現状のミニバス西路線	利用者の声を踏まえた運行間隔の改善・調51ルートの実行(C案)	備考
ルート図	<p>現状のミニバス西路線は、多摩川沿いに品川通り、下石原二丁目、下石原三丁目、多摩川一丁目、小島町三丁目を経由し、調布駅と飛田給駅を結ぶルートである。</p>	<p>提案ルートCは、現状ルートに加え、上石原三丁目を経由し、調布駅と上石原三丁目間の運行間隔を30分間隔から20分間隔に短縮する。また、調布駅と飛田給駅間の運行本数を3(2)便から8(7)便に増加させる。</p>	
	○調布駅と飛田給駅間の同じルートを往復	○調布駅と上石原三丁目間の同じルートを往復 ○2時間間隔で調布駅と飛田給駅間の同じルートを往復	
車輛, 台数	小型バス, 2台	小型バス, 2台	
運行収支	約▲23,800,000円(2021年度見込み)	約▲23,800,000円(2020年度見込み)	市からの運行補助金:5,000,000円→15,000,000円
運行間隔	30分間隔	調布駅～上石原三丁目間:30分間隔⇒20分間隔 調布駅～若宮八幡通り入口～上石原三丁目～飛田給駅: 10時, 12時, 14時, 16時, 18時時台の5便 ※調51(路線バス)6時台, 7時台の2便あり	
メリット		<p>現状の西路線と比較してC案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存のバス停をすべて運行する</li> <li>調布駅～上石原三丁目間は30分間隔から20分間隔での運行となることで利便性が向上する(輸送量1.5倍)</li> <li>減便となった調51(調布駅南口～車返団地折返場)のルートである品川通り沿いの商業施設, 医療施設の利用が容易になる</li> </ul> <p>※ 3(2)便/日→8(7)便/日</p>	
デメリット		<p>現状の西路線と比較してC案は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調布駅と京王多摩川駅に結節する運行数が約1.5倍に増加するが, 飛田給駅までの一部ルートが減便となる</li> <li>上石原三丁目バス停から以北のバス停(飛田給小学校入口, 地域福祉センター等)を通過するバスが減る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉センターから上石原三丁目まで 徒歩約4分(約320m)</li> <li>飛田給小学校入口から上石原三丁目まで 徒歩約2分(約160m)</li> </ul>

### ミニバス西路線運行時刻表比較一覧表

現時刻表				
	調布駅南口 (飛田給駅南口行)	上石原三丁目 (飛田給駅南口行)	上石原3丁目 (調布駅南口行)	飛田給駅南口 (調布駅南口行)
5時				
6時	55		40 33	55
7時	30 55	43	3 23 33	25 55
8時	0 30	13 43	3 23 33	25 55
9時	0 30	13 43	3 33	25 55
10時	0 30	13 43	3 33	25 55
11時	0 30	13 43	3 33	25 55
12時	0 30	13 43	3 33	25 55
13時	0 30	13 43	3 33	25 55
14時	0 30	13 43	3 33	25 55
15時	0 30	13 43	3 33	25 55
16時	0 30	13 43	3 33	25 55
17時	0 30	13 43	3 33	25 55
18時	0 30	13 43	3 33	25 55
19時	0 30	13 43	3 33	25
20時	域0 域20	域13 域33		
21時				

赤色：調51（調布駅南口～車返団地折返場）  
 赤色域：ミニバス西路線（地域福祉センター行）

3月提案時刻表				
	調布駅南口 (飛田給駅南口行)	上石原三丁目 (飛田給駅南口行)	上石原3丁目 (調布駅南口行)	飛田給駅南口 (調布駅南口行)
5時				
6時	55		40	57
7時	30 上≡40 55	43	5 15 23 55	
8時	上≡20 上≡40		15 23 35 55	7
9時	上≡0 上≡20 上≡40		15 35 55	
10時	上≡0 上≡20 上≡40 ※55		15 35 55	
11時	上≡20 上≡40	※6	※22 35 55	※15
12時	上≡0 上≡20 上≡40 ※55		15 35 55	
13時	上≡20 上≡40	※6	※22 35 55	※15
14時	上≡0 上≡20 上≡40 ※55		15 35 55	
15時	上≡20 上≡40	※6	※22 35 55	※15
16時	上≡0 上≡20 上≡40 ※55		15 35 55	
17時	上≡20 上≡40	※6	※22 35 55	※15
18時	上≡0 上≡20 上≡40 ※55		15 35 55	
19時	上≡15 上≡40	※6	※22 35 55	※15
20時	上≡0 上≡20		15 35	
21時				

赤色：調51（調布駅南口～車返団地折返場）  
 黒色上≡：上石原三丁目行  
 青色※：品川通り経由（調布駅南口－上石原三丁目－飛田給駅南口）